新京日日新聞
夕刊
一月廿七日（土）
新京日日新聞社

滿洲國江防艦隊 一年を顧る
邊境人民屈辱的地位を解放 歴史的の一大偉業（下）

これに鑑み滿洲國政府では、新艦建造を行ふこと〻なり、大同利民の二砲艦及び恩民、惠民、普民の三砲艇を神戸造船所に依頼新造し一旦解体して遼路ハルビンに輸送、八月建國最初の進水式を行つた、この新鋭諸艦の編入によつて江防艦隊は陣容を一新することが出來た、當時國境河川の航行權は全くソ聯側の壟斷する處であり、支那江防艦隊が松花江へ入る時、ロシア側と結んだ協約によつて國境河川への進出が出來なかつたが既に滿洲國の成立を見た以上國威を國境河川に發揚するの要あるを痛感し、七月七日外交部北滿特派員施履本氏より在哈ソ聯總領事スラウツキー氏に對し國境河川に進出する旨通告し、ソ聯側よりも異議なき旨回答があつたので、七月二十九日軍艦利綏、江平、江清、砲艇恩民、惠民、普民堂々雄姿を並べて富錦を出發撫遠に向つて劃期的な壯途に上り、約一週間に亘り江邊の巡察を遂げ、八月四日富錦に歸着した、この間ケ・ペ・ウの監視艇は江防艦隊に敬意を表し、滿洲國江防艦隊は、茲に舊政權時代より放棄して顧られなかつた國境河川の航行權を確立することが出來た、次で八月十九日同艦隊は、再び富錦を出發、烏蘇里江進出の途につき途中饒河に於て救國軍匪を討伐し、匪賊に抑留されてゐた商船銅山號、北鐵號を奪回し、同二十五日虎林に到着、避難民千四百名を救助して八月三十日無事富錦に歸着した

ロ

越えて九月七日新鋭砲艦大同利民は、參謀長巖中佐指揮の下に第三次黑龍江進出を實行し、溯行を續けて同十二日大黑河に到着、更に溯つて同二十日滿洲國最北端の砂金の町漠河に到着した

ロ

黑龍江本流の上流に滿洲國々旗が飜つたのは、これが最初であり呼瑪、金山鎭、鷗浦、漠河各縣の住民は永年に亘るソ聯官憲の壓迫に怯えてゐた際でもあり、手の舞足の踏む所を知らない程の喜び方であつた、同時に對岸のソ聯官憲もこれには、ビツクリして只驚異の目をみ張るのみであつた、二艦は更に溯行を續け、オノン河と額爾克納河の合流地點より約二十キロの邊境にまで到着したが、減水のため九月二十日同地を發し歸還の途についた、歸航中大同はソ聯商船と衝突したが、損害は輕少であつた。この外、滿洲國領域内に於てソ聯人の密漁を發見、犯人三名を逮捕してハルビンに押送した

斯うして新鋭二艦によつて國境線千五百キロに亘る巡視が終り、次で行はれた十月三日より六日に亘る間の第四次黑龍江進出を以て本年度の輝かしい活躍の幕を閉ぢた

ロ

以上四回に亘る江防艦隊の國境河川進出は、滿洲國の實力をソ聯側並に邊境人民に示し邊境人民を多年の屈辱的地位から解放した歴史的偉業であると云つても過言ではあるまい

北鐵運賃問題 滿ソ幹部間交渉決裂

〔ハルビン國通〕日滿經濟團体代表五名は廿七日引續いて午前北鐵ソ聯首腦者バンドウラ氏を

『訪問』 四時間に亘つて北鐵運賃引下げと國幣建採用問題について最後的決意の下に懇談を遂げたが、この會談に於てソ聯側は建値の變更は財産評價、貸借對照表等北鐵財産關係は一切金留建となつてゐるから一氣呵成の變更は困難なるも、尚研究して見やうと云ひ、一方運賃の引下げについては磅金弗を標準とすれば現在の運賃は一割六分安となるからとて一應懇談的に出で從來の態度に比して軟化を示して來たが、日滿經濟團体ではソ聯側從來の朝令暮改的な言動に鑑み簡單に信用せず、その初志を貫徹するまでは何回でも會見を行ふ決意を固めてゐる

一方李督辦も當面の問題を解決するため北鐵滿鐵、ソ聯の聯合會をハルビンに開催することにつき折衝中であつたが本日の會見でソ聯側は李督辦の提案を拒絶し、交渉は茲に決裂し、双方の關係は益々尖鋭化、問題は愈よ紛糾、ソ聯側の不誠意に民衆運動も更に激化の「一形勢」にあり、當地露字新聞は問題を重大視し、一齊に交渉決裂の號外を發行した

ソ聯側運賃會議提案を自ら葬り 運賃問題危機に直面

〔ハルビン國通〕北鐵ソ聯側は數日前より滿洲國側に對し運賃値下げは原則的に同意であるが、それが前提として先づ隣接鐵道たるウスリー鐵道と連絡運賃會議を開催する要ありと提言し來つたので、李督辦は直ちに之に賛意を表したるところ、ソ聯側は愈よ會議召集書類を滿ウ兩鐵道當局に發すべき段になるや、ソ聯幹部内の意見未だ充分一致せず、その理由より發議者たるバンドウラ副理事長代理は署類にサインを爲さず、これがため會議召集は何等形を爲さず行き悩みの状態にあり、運賃値下げ問題の具体的對策は全く放置さるるに至つた、右に關し李督辦は二十六日午後二時日滿露記者團に左の如く語つた

余はソ聯幹部が聯絡運賃協定會議を提案し來つたので直ちに賛成したが、未だこれが進捗を見てゐない、その理由はソ聯幹部が事變以來懸案となつてゐる滿鐵の北鐵に對する割引運賃拂戻金を事新しく持出して値下げ問題を有耶無耶の中に葬らんとするソ聯一流の策略であると信ずる 二十七日のロシア市民のデモによりいくらかでもソ聯幹部が反省しなければ最早全く運賃問題は重大な危機に直面するであらう

日英綿業協議會 近く開會さる
但し人絹協議未決定

〔ロンドン二十五日發國通〕日英綿業協議會に關する全權委任狀は二十五日午後代表部に到着したので、岡田首席代表より直ちにマンチエスター綿業團に通知する筈である、マンチエスター綿業團では右通知に接し次第代表をロンドンに派遣し、日本代表部と協議會の議題を決定する段取りである、但し右委任狀は綿業の協調だけに關するもので、人絹の方は未決定のため、人絹だけ切離して正式交渉を開始するか、如何かは議題審議の際協議決定する筈である

弗貨改定法案 一兩日中に可決か

〔ワシントン廿五日發國通〕ルーズベルト大統領の弗貨改定法案に對しては野黨たる共和黨側より「不法に米國々民の財産權を剝脱するもの」として憲法違反論が持出され、本會議の表決迄に相當紛糾しさうな形勢であるが、上院政府黨側領袖連は愈よ議案の表決を一兩日中に完了する手配を整へ、遲くも廿七日の土曜日迄には一擧に可決する事となつた

ス駐哈ソ聯總領事 デモ取締り方を滿洲國側に懇願

〔ハルビン國通〕スラウツキーソ聯總領事は北鐵運賃値下げ民衆運動を病痛に病み當地外交部特派員に籌運びの抗議を申込むといふ狼狽振りを見せて居るが、二十六日は施外交部特派員に對し、明二十七日白系露人のデモがあるから警戒その他何分宜敷く頼む旨懇願するところあつた

十二月中の新京金融經濟状況（一）
―朝鮮銀行新京支店調査―

寒氣漸く本格的となり、道路悉く氷結して運搬容易となつた爲特産物も弗々ながら活況を呈し、一方年末に際し輸入方面も活氣を帶び、建築界も内部補工、裝飾方面等に多忙を示した、年末決算期に際し以上の状況に資金の需要も相當額に上つたが、內地、朝鮮大連方面よりの資金流入も相當額に上つた爲、さして資金の逼迫も見ず先づ平穩裡に越月した

一、特産物市況

特産市況好轉の見込なく、一方本月二十日より糧石稅の實施を見た爲、上、中旬は持込寄託増加し稍々繁忙を見たが下旬の糧石稅實施後は頓に減少して不振裡に越月した

尙寺盛裡にあつた拉賓線も月央開通を見て假營業も目前に迫りし爲、高運賃なる北鐵を回避し安運賃なるべき拉賓線經由に期待して北滿方面よりの連絡物も捗々しからず、例年の如き活氣を見なかつた

月中に於ける新京驛發送數量を見れば左の通り（單位キロ）

品名	前月	當月	前年十二月	對前年比較
混保大豆	七、三〇〇	九、六六〇	三三、一〇〇	△二三、四四〇
普通大豆	八、七〇〇	二一、一二〇	一五、一〇〇	◎六、〇二〇
高粱	一、六八〇	四、四四〇	[illegible]	◎四、三二〇
包米	二、三四〇	四、七一〇	六〇	◎四、七一〇
粟	二〇〇	六〇	[illegible]	△一二〇
小豆	二二〇	一、六二〇	三二〇	△一、六五〇
吉豆	一、三二〇	二、四六〇	四三〇	◎二、〇一〇
蘇子	五、七三〇	六、七九二	三二〇	◎六、四二五
小麻子	一、〇九〇	三、〇三五	七四〇	◎二、二八八
豆粕	三、六〇〇	一、八二四	二、三三三	△[illegible]

各品に就て見れば
◎大豆出廻り
滿鐵線 前月に比し稍々増加せるも昨年同月に比較すれば混保品は大減少し普通品は相當の増加である、出廻りは中旬最も旺盛で上旬之に次ぎ下旬は割合閑散だつた
京圖線 前月に比し混保品九五、六四〇噸、普通品二五五〇キロトンの増加で昨年同月に比すれば混保八一、六〇〇キロトン増加、普通三八七〇キロトンの減少である北滿線混保品は前月に比し稍々増加を示したが普通品は五二一、四七〇キロトンの大減少である昨年同月に比し混保七三、七七〇キロトン、普通八六、三七一キロトンの大減少振りである

内田氏の投じた ロンドン條約質問の一石
政民兩黨間に論爭を展開か
けふの豫算總會

【東京國通】二十六日の豫算總會では政友會の内田信也氏によつて政民兩黨の間で最も衝突の可能性あるロンドン條約に觸れ政府に對してロンドン條約の缺陥を言明せしめんとする質問陣を進め民政黨をして不滿を持たしむるに至つたが、更に二十七日の豫算總會に於て内田君がこの論陣を進むる時はロンドン條約に就いて當時の民政黨内閣の態度の濁まれることに言及することさなるべく而して民政黨は政友會がロンドン條約を持出し、これを失敗なりさして責める場合は當時の實狀をさらけ出して政友會と抗爭すべしとの論有力であるからこの點について政民兩黨の質問の發展如何に依つては政民聯繫の空氣に支障を來たすは勿論この問題を中心として、兩黨の間にロンドン條約を中心さする大論爭が展開され意外の波瀾が惹起されることさなるかも知れず斯くなれば休會明け以來政民兩黨の代表者によつて高唱された政黨政治確立への共同戰線にも異狀を來たしこの兩黨の論戰の發展如何によつては幾分恢復しかけた如くみられる政黨の信用にも

〓衝突〓

〓影響〓を齎すべくこの内田君に依つて投ぜられた一石の波紋は二十七日更に同君によつて發せられる第二石に依り何處まで展開されるか興味を以て觀られるに至つた

下院施政演説に對する
質問一通り終る

【東京國通】下院本會議の論戰は廿六日を以て四日に亘つたが、國務大臣に對する施政外交財政國防軍規問題に關する大體的論議は一通り終つたのであるが、而して本會議の質問は軍規問題に集中された觀があり、豫期されてゐた農村問題は閑却された觀があつたが、廿六日は軍規問題は既に其の峠を越し、農村問題が討議される樣になつて來た即ち今後の豫算總會では救農政策が相當深刻に論議さるべく、同時に内政會議の審議内容等に就ても檢討を試みるべく議會は漸く豫明された軌道へ乘つて來たと考へられ、民政黨は廣田外相の外交演説及び其の答辯振りに對して大體好感を持つて迎へてゐる。即ち其の態度さか主旨さかは未だ充分でない處があるが其の言ふ處は肯頸に富つてゐる。殊に從來の外相は外交は秘密だといふを楯にとり答へぬを以て答辯さする風があつたが、廣田外相は此の例を破り卒直に出來得る限りは眞相を話すことに努めてゐる更に其の演説内容に就ても外交は總て外交工作に依つて遂げるといふ信念を發表したが之は中々意義あることであり、同時に日本が東亞の平和維持の礎石として自ら其の責任を負ふと言つた事は日本の根本方針を闡明した事であり、之等は民政黨としても言はんと欲する處で、廣田外交には贊成である。廣田外交是認の態度をとつてゐる。唯印度シムラ會議の

〓模樣〓

〓結果〓に就ては外相自身も言つた通り民政黨でも多少異論があるを免れぬ故之等の點に就ては豫算總會席上田中武雄氏が政府に質問する筈である

外交工作は公明正大に
廣田外交全貌判明

【東京國通】議會開會後の廣田外相の施政演説と質問、應答で廣田外交今後の方針は左の通り判明した

一、東亞の平和維持の責任を有することを列國に闡明し歐米流の政策や思想を許容せぬことが、聯盟脱退の原因なることを平和手段で闡明する

一、一九三五、六の軍縮會議は軍縮問題に限り滿洲問題は再議せざる立場を堅持すること、次期會議を殊更危機と呼ぶことは支那其の他に不當の野望を抱かしめ、國民の意氣を沮喪させるからこれを排除す

一、對米關係は險惡な問題の存在せざるを相互に理解し次期軍縮會議には事前に充分諒解を求める、對露關係は北鐵交渉を可及的に進行せしめ、それを基礎さして日露懸案の解決を圖る

一、對支外交は内政の安定を待ち抗日政策、排日思想の解消なき限り日支親善、東

上山氏綱紀問題で
商相に肉迫
今日の貴族院緊張を豫想さる

【東京國通】貴族院は二十七日午前十時より本會議を開き國務大臣に對する質問を續行し、先づ坂本俊篤男（公正）は國防問題につき陸相、海相、商相に質問をなし次いで上山滿之進氏（同和）は重大問題視されてゐる製鐵合同問題を提げて中島商相に肉迫することとなつてゐるから、當日の貴族院は相當緊張をみるものと今から期待されてゐる

衆議院本會議
第四日の續き

【東京國通】宮澤君（政）は次いで

廣田外相は果して如何なる外交工作を有せられるかと述べ、更にソ聯の怪文書事件並に各國外交關係者の戰爭危機の放言等に對する外相の處置を質して降壇、之に對し齋藤首相は簡單に答辯、次で廣田外相は

怪文書事件はソ國でも遺憾の意を表して居り、北鐵問題ではソ聯側からその斡旋を依賴してゐる程であり、私さしては何事も急いでは事を仕損んずると考へてゐるとあつさり答へ、次で林陸相は

陸軍の國防經費要求は最少限度で、陸軍が軍部充實のために種々の言辭を弄するが如きは全く事實無根だと答へ、大角海相も亦略々同樣な答辯をなした、宮澤君（政）は更に自席より齋藤首相の再答辯を要求したが首相答へず、小池四郎君（第一）登壇し、次の如き質問をなしたが政黨政治に眞向から攻擊の矢を浴せかけたので議場は妨害的彌次で騷然となつた

一、政黨政治即ち政權授受の政治によつて利するものは政黨と財閥であり、損するものは國家と國民である

一、反政黨、反政黨政治思想の國民的支持を得つつある事を政府は如何に觀るか

一、今議會に於ける反軍部的空氣に對し軍部大臣は政黨關係よりも皇軍の上下一致の軍紀をよく維持することが遙かに重大である、其爲めには軍部大臣に「百萬人と雖も吾行かん」の信念がなければならぬ、其信念ありや否や

小池君の質問に對し齋藤首相は

總ての場合に弊害を排除しなければならぬのは勿論であるが、政治經濟機構に就いては帝國憲法の指針に從つて運用すべきであつて其の方向は決つてゐると不得要領な答辯、簡單に一蹴、後藤農相も首相の答辯通りであると云つたのみで他の閣僚は應答せず、次で民政の山桝儀重君登壇、思想問題に言及し

極左運動は政府の努力によつて次第に影をひそめたが極右に對する政府の所存如何

と云ひ、更に不穩思想の根本的排除策として富の分配の公平と、教育制度の刷新を擧げ政府の所見を質して降壇、これに對し首相は極右思想の鎭壓に努力してゐる旨を簡單に答へ、林陸相は

私の答辯が誤解されてゐるが、在鄕ならば勝手に政治に觸れて良いと云つたものであつて、軍部が斷じて右翼思想を後援してゐる事實は無い

と答へ、次で大角海相は私の前日の答辯で軍人が國法の範圍内で政治に關心を持つのは已むを得ないと云つたのは研究するのを止める譯に行かぬと云ふ意味であると述べ、陸海兩相が前日の答辯を或る程度修正して弱い意味を持たせたので議場は拍手を送る、次で山本内相も思想取締りにつき答辯し六時七分散會、これにて質問を一先づ終了した譯である

四月から平時狀態
駐滿部隊の福音
邊境部隊は現狀維持

【東京國通】陸軍省發表＝滿洲の治安恢復し三月一日で帝制が實施されるので年度末の三月三十一日を以て大體戰時狀態の解消さなる模樣で邊境部隊は尚しばらく現狀維持さなるが主要都市は事變前に復し將校以下軍屬の家族の渡滿も許される筈で出征軍人に對し一大福音である

政友會
廣田外交を支援

【東京國通】政友會の廣田外交に對する態度は床次竹二郎氏が議會で言明せる通り其の東亞の平和はあり得ざる旨を説明、拙速外交を避ける

軍民離間問題で追及せば
決戰の用意ある陸軍當局

【東京國通】軍民離間聲明問題に關して二十四日下院で陸海兩相が或程度の答辯に止めたのは材料がない譯ではなく徒らにこの非常時に此種の問題を材料として國内で論爭することは國際關係に悪影響あるとの大局觀からであつて、しかも貴衆兩院が尚追及態度に出る場合には陸軍では斷乎應戰に決心し政府員はこれに要する資料を備へて何時でも決戰態度に出る準備をなしてゐる、右資料は某巨頭始め三十餘名、六十件に亘る軍民離間演説或は講演の内容で何れも動かせぬ證據書類である

趣旨は異存無く軍部は勿論各方面とも完全なる意思の合致を圖り擧國一團となつて之が實行を期すべきであるとなし殊に一九三五、六年の非常時に對してあくまで外交工作に依つてこれを克服の信念は施政演説の中にも又議會では質疑應答の中にも充分これを認め得られるので我さしては聊か心損懷にこれを支援し少くとも對外交に關しては擧國一致難局打開の實を擧ぐべしさなしてゐる

林出書記官
執政府行走に

駐滿大使館の林出書記官は廿五日附執政府行走となつたが行走とは、日本に於ける宮中顧問の如きもので出入自由で、今後は執政府と大使館の連絡は林出書記官が專ら當る筈である

全滿石炭消費
漸次恢復の途を辿る

最近の滿鐵商事部の調査によれば全滿の石炭消費總額は
昭和四年　五四二、八萬噸
　五年　六〇六、一
　六年　四三九、一
　七年　四九八、二
で、昭和六年の激減は事變による影響を示してゐるが、治安の恢復と人口の增加及經濟建設の進展で漸次增加の形勢にある

天津警察
禁制品取扱者に斷乎一大鐵鎚

【天津廿六日發國通】二十三日來警察當局ではモヒ、阿片類禁制品取扱者に對し大鐵鎚を下し、司法科總出動の下に活動を開始し一方右吸煙處と覺しき支那人の旅館飯店等片端から取調べ現品沒收する外現行犯を檢擧し、斷乎閉鎖の手を下してゐるが、押收現品の總額十餘萬圓に上つてゐる

尚昭和八年度の調査は近く完了するが大體に於て五百萬噸程度と見られてゐる

邦人に對する
天津海關の態度
意識的嚴重を極む

【天津二十七日發國通】最近天津海關吏の邦人に對する態度は極めて〓誠意〓を缺き排日意識的と考へられる位嚴重を極め海關の手續き其他手荷物の搬出の場合は大迷惑を蒙つてゐるが右は關稅高率の報ひとして密輸入品が激增してゐる事實に鑑み特に取締りを嚴重にしてゐるものと思惟さるるも餘り嚴重を極むる結果は却つて諸種の弊害を發生する惧さもあるので我領事館當局ではその實情を調査し場合に依つては海關當局に對し嚴重警告を發するに至るものと見らる、昨朝の如き邦人の一旅客者が天津東停車場に於て稅關吏の嚴重なる取調べを受け同者を祖し日本警察署からは係員が解決のため現場に急行、嚴重掛合の上身柄を引取つた事件あり稅關吏の〓不穩〓なる態度に非難の聲が高い

故原首相暗殺の中岡艮一
卅一日釋放

【東京國通】原敬氏を暗殺した中岡艮一は無期を宣告されて以來幾度も恩赦に逢ひ都合十一年餘の刑を終へて愈よ刑務所を出所することとなつたが同人に對しては一度當局に移して釋放するとの說が傳へられて居たところ司法當局は來る三十一日午前六時同人の目下收容されて居る宮城刑務所より直接釋放するに決した

協和會で
施藥を開始

昨年大和藥業組合より價格五萬圓に達する藥の寄贈を受けた協和會では此の程各地に藥の配與を終へ一應の成績は極めて良好で、の奥地にあつて藥を得るに困難を感じて居た民衆は旱天に慈雨とばかり喜んで居る

協和會々報
創刊號出づ

滿洲國協和會は機關雜誌日滿文の「振興」を發行してゐるが今回更に毎月二回日滿兩文の協和會報發刊を計畫、一月十五日その創刊號を出したが非賣品會員に頒つ

電々會社
社員養成所入所試驗

電信電話會社では社員養成所普通科の入所試驗を左の通り行ふが募集人員はA科四十名（中等學校卒業者）B科四十名（高等小學校卒業程度）でA科は大正三年十二月二日以降生の日本男子、B科は大正五年十二月二日以降同九年三月三十一日までに出生の日本男子である

入所試驗地＝大連、奉天新京、安東

試驗期日＝A科三月二日三日、B科三月四日

入學願書＝二月二十日締切

その他は電々會社社員養成所又は電信局、電話局に問合せられたいと

北鐵西部線
時間變更

北滿鐵路西部線ではまた各列車の運轉時刻を次の通りに變更する

月、水、金哈爾賓發第三列車は午前八時哈市發、昂々溪午後二時三十八分着、滿洲里翌日午前七時分着

日、火、木滿洲里發第四列車は午後七時五十五分發昂々溪翌日午前十一時二十分着哈市午後六時二十分着

日、火、土哈市發第二十一列車は午前八時十五分哈市發昂々溪着午後五時五十五分

日、火、木、土昂々溪發第二十二列車は午前八時二十五分昂々溪發、哈市午後六時五分着

全比島トーナメント
楠本先づ快勝

【マニラ二十五日發國通】全比島トーナメントは二十九日より當地に於て開催されたが、我國よりは楠本（帝大）平井（慶應）兩選手出場先づ楠本選手はダイリフト選手と對戰左のスコアで快勝した

楠本　六－一　七－五　六－一　ダイリフト

平井選手は二十六日グウマン選手と對戰する筈である、同大會は過去四ケ年間何れも日本選手の優勝に歸して居るが本年も必勝を期待されて居る

經濟欄

人事往來

▲平賀少將（第〇〇〇團長）廿六日午前八時卅分發哈市へ
▲吉田大尉以下〇〇〇名（關東軍自動車隊）二十六日午後七時着〇〇〇方面へ
▲山本特務曹長以下〇〇名（第〇〇〇團自動車隊）二十六日午前八時三十分發〇〇〇方面へ
▲近藤事務官（哈市總領事館）廿七日午前七時着奉天から
▲矢崎參謀長（第〇〇〇團）廿六日午後七時二十分來京富士屋旅館投宿

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊現物先限 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]

▲印棉
現物　一月限　三月限　五月限　七月限　九月限　十一月限 [illegible]
ブローチ [illegible]
オームラ [illegible]
ベンゴール [illegible]

▲上海標金
昨引　高値　安値　歩値　本寄 [illegible]

▲上海日本向　第一回 [illegible]
▲上海倫敦向　賣値　買値 [illegible]
▲上海紐育向　賣値　買値 [illegible]
▲大連金鈔票　現物　寄付　歩値 [illegible]
▲大連上海向　引上値　高値　安値　出來高 [illegible]
▲大連煙台向 [illegible]
▲阪神日米爲替　第一回 [illegible]

各地市場

▲大阪株式　大株　大新　鐘紡　同新 [illegible]
▲大連株式 [illegible]
▲大阪三品　五品　先限　鐘紡 [illegible]
▲大阪棉花　當限　二月　三月　四月　五月　六月　先限 [illegible]
▲大阪期米　當限　先限 [illegible]
▲仁川期米　當限　中限　先限 [illegible]
▲横濱生糸　當限　中限　先限 [illegible]
▲神戸豆粕　現物　當限　先限 [illegible]
▲カルカツタ麻袋　一月限　二月限　三月限　五月限　青筋　魔筋　爲替 [illegible]

▲大連特産
▲麻袋　現物　一月限　二月限　三月限　四月限　五月限 [illegible]
●大豆　現物　二月限　三月限　四月限　五月限　六月限 [illegible]
●豆粕　現物　二月限　三月限　四月限　五月限 [illegible]
●豆油　現物　一月限　二月限　三月限　四月限　五月限 [illegible]
●高粱 [illegible]

新京市況

特産現物　大豆　高粱　小豆　包米 [illegible]
錢鈔　鈔票對金票　現大洋對金票　調幣對金票　現大洋對鈔票 [illegible]

全滿四ヶ所に忠靈塔を作る
新京は西公園南方景勝の地
設計圖を懸賞募集

滿洲事變以來皇國のため犧牲となつた武藤元帥以下の戰病死者を長くこの滿洲の地に「分祈」するため新京、哈爾濱、齊々哈爾、承德の四ヶ所に新しく忠靈塔を建設することゝなつたが、新京は、今年四月から着手することゝなり、左記の通りその設計圖を一般から懸賞募集することゝなつた、經費豫算約十五萬圓で奉天の忠靈塔より大規模なもので、場所は西公園南方新軍司令官邸附近の景勝の地三萬七千五百平方メートルの地域で、西公園を同所まで擴張することゝなつてゐるが、忠靈塔には祭壇、納骨堂をおき、又禪堂をも建立して朝夕市民が參詣「出來」る樣になつてゐる

設計圖案賞金

等	賞金	人數
一等	二千圓	一名
二等	千圓	二名
三等	五百圓	三名
佳作	二百圓	若干名
締切	二月	末日迄

新京附近荒しの天好等捕はる
新京署員の苦心で

事變以來長春縣下九台附近一帶を根城に掠奪、人質拉致、強盜、放火のあらん限りの「暴威」を振つてゐた匪賊天好こと高興隆(二六)が日滿軍の追擊に賊團を解散し小部隊を編成し强盗を働いてゐたが最近敦道北三不管に潛伏してゐるを新京署岩田、成松兩刑事と李兩巡捕が探知し搜査の結果二十六日午後五時ごろ刑事の一隊が東五條通十番地先を密行中防寒帽を目深に冠つた擧動不審の滿人男が一隊を見るや直に逃走を企てたので追跡、大格鬪の末逮捕したところ刑事隊が搜査中の天好と判明した、懷中に所持してゐたモーゼル「拳銃」一挺、彈丸十八發を押收した

御服喪明け 晴れの御成婚十週年記念御祝宴 陽春

【東京國通】天皇、皇后兩陛下が大正十三年一月二十六日御成婚のあらせられてより、二十六日は畏くも十周年に當らせられるが、目下御服喪中のことゝて三、四月頃晴れの御祝宴を行はせらるる由洩れ承る

菓子屋の集金人 ドロン

市內室町一丁目十九番地吉野屋菓子商こと四倉宗十郎氏方使用人劉替右(二三)は二十六日午後一時ごろから新發屯方面の得意先に集金に行つたが夕刻になるも歸宅せず家人が不審を抱いてゐたところ午後十一時ごろ電話で只今無燈火で走つてゐるを白菊町派出所警官に發見され罰金六圓五十錢を出さなければ歸宅を許されず困つてゐると電話があつたので家人は「それでは集金から支拂つて歸れ」と命じたがいつになつても歸宅しないため不審を抱き白菊町派出所に問合したところ右の事實は全然なく劉替正が集金を横領逃走したことが判明し直に新京署に届出目下犯人搜査中である

朝日通の小火

二十六日午前十一時四十分ごろ市內朝日通四十九番地鐵工所揚茂林方工場の屋根から出火してゐるを家人が發見し直に新京消防隊員が急行消火に努めた結果大事にいたらず鎭火した、原因は煙突の飛火と判明した

南關に强盗

二十六日午後五時ごろ城內南關警察署東側□棧方へ四人組の拳銃強盜が押入り家人を脅迫し現金八百圓を強奪し暗に乘じて逃走した、急報に接した南關警察署並に首都警察廳では直に全市に非常線を張り犯人搜査に努めたが逮捕するにいたらなかつた、搜査の結果犯人は同家の事情に深く通じてゐるものらしい

新京中學校 バラック校舍新築 新學期の間に合せ

新京中學校では學級增によつて新學期から他に新校舍を建てて移轉すべく敷地を物色中であつたが他に適當な地がなく最早工事に着工せねば新學期の間にあはないので新校舍の敷地(ゴルフ場の附近)の一部に七教室のバラック式のものを建て新校舍の落成をまつことゝなつた

街の日記

商業校の弁論大會と珠算大會

新京商業學校では二十九日午後同校講堂で校內辯論大會を開催、三十一日は第七回珠算大會を開催すること

和服科の家事講習 一日から開く

新京地方事務所では來る二月一日から家事講習和服科の講習を露月町家事講習所で開講することになつた、講師は中尾つや子女史、開講時間は毎日午前九時から午後三時半まで、新規申込の方は直接家事講習所へ申込まれたいこと

關東煮の三人姉妹 島の娘生る

金々水兼柱はトる、左黨はメートルを上げねば不可ナンテ各方面に顏を賣つてゐるが此處に珍らしくも三人姉妹トチモチヤツカリした關東煮一杯屋を紹介する、場所は入船町四丁目一五割烹みよしの裏通り曙湯の前に新開店した看板は「島の娘」經營者姉が文子さん二番目が薰さん末妹がよし子さんで三人揃ひの姉妹よく似た朗らかな顏を揃へてのサービス頗る評判がよい三人共以前朝日通り料亭「こゝろ」に居つた方々で御馴染の筈、男氣拔きの家とて賑やかな營業振り元より味よいとの事とて後援せむと思ふ方是非共一度試むべき好き軒である

兵庫縣人會

在京兵庫縣人會は來る二十九日午後六時から料亭河花で新年宴會を催す、會費金六圓當日持參、參會者は吉野町の森野商店、祝町の田中卓二方、日本橋通吉野屋樂器店、日本橋通廣本洋行の內へ申込まれたいこと

日の出を拜するつどひ

廿八日(日曜日)朝六時四十分より西公園誠忠碑前にて(新京日出時刻七時二十一分)因に市民集會は七時集合

拾ひもの

▲東三條通六十番地長春鐵工所內李崔氏は二十七日午前八時ごろ自宅前路上でクローム側腕卷一個を拾つた

盜難屆

▲祝町四丁目四番地友清清一氏二十六日午後九時ごろ自宅玄關で黑皮製長靴一足を窃取された▲入船町三丁目二十三番地の三湯浦佐吉氏は二十六日午前十時二十分ごろ居間の柱にかけてあつた金側時計一個を家人不在中窃取された▲朝日通四十一番地大林組出張所內鈴木田陽氏は二十七日午前十時三十分ごろ滿洲國需要處で紺オーバー一着を窃取された

滿洲航空の旅
各線とも便利になる
回數の增加や航空路延長で

滿洲航空會社の新京哈爾濱、齊々哈爾間の定期航空は今日まで一週間七往復であつたが、この方面の旅行は東支線の關係から乘客多く七往復では收容し切れぬため、來る二月一日から一週間十往復に增加することゝなり、月、水、金の三日間は二往復運航するがそのため、午前八時半に新京を出發し、午前十時哈爾濱について用件を濟ませ、午後一時頃齊々哈爾から歸つて來た飛行機により、午後三時には新京に歸られるわけで非常に便利となつた、又新京圖們間の定期航路はこれを汽車との連絡上圖們まで延長することゝなつたがその結果、朝鮮や內地方面との連絡が頗る便利となつた、將來內地新京間の二日旅行實現のため雄基、羅津まで延長する筈で、その結果東京新潟間七時間、新潟羅津間一晝夜、羅津新京間二時間半で旅行出來ることゝなる予定である

大同三年の天文、氣象は?
後藤觀象台長語る

我國易學界の泰斗小玉吞象氏は本月七日ヤマトホテルで滿洲國の大同三年の國易について種々な世相を發表したが後藤滿洲國中央觀象台長は天文、氣象方面からみた大同三年の滿洲國について次のやうに語る

□

昨年もそうであつたが本年も太陽の黑點はどん底にあるので

氣象方面 にはかなり大きな波亂があることゝなつてみるから吾々としては氣象の推移によく注意してをらなければならないのである、これを昨年の滿洲國全体からみると二十日の鄭總理の聲明のなかにもあつた如く昨秋は未曾有の豐作であつた、これは降雨が期節に順調な降雨をみ夏期に適度な暑があつたわけで

これは一面常識的に考へれば降雨期に降雨があり夏に暑いのはなにも天變地變ではないかの如く思はれるが實は滿洲は降雨期に旱天が續き雨期をはづれて豪雨などのあるのがむしろ普通のことであるのでこの點昨年は順調でなかつた天候とされてゐるのであるからたいへんやう

勿論昨年 はよい方への變調であつたのであるからよいわけであるがはたして本年もよい方面への變調であるかどうかは不明である、然し氣象上からみて普通の年でないことだけは明かである

凱旋兵着發

內地凱旋の途にある第○○部隊凱旋兵○○○名は二十七日午後零時三十分新京驛着約二時間の休憩をして午後二時三十分發列車で南下した當日は在京各團体學生一般有志多數の迎送者で殺倒した

あすいよいよ滿鐵社員かるた大會
午後一時から白菊町會館で
妙技は續出しやう

わが社主催の全滿かるた大會を目前に控へて滿鐵社員から成る同好會並に社員俱樂部主催の社員並家族慰安かるた大會はいよいよ明二十八日午後一時から白菊町會館に開催されることになつたが、この計畫が發表されるや滿鐵各機關の同好者は大歡びで到るところ猛練習を開始し、當日の盛況は思ひ知るべく指頭火を發す妙技が繰返されるであらうと多大の期待がかけられてゐる、なほ參加者は極めて多數に上る見込であり、いづれも必勝を期しての出場であるから相當混戰を見るべく最後の勝敗が決せられるのは午後十時過ぎの豫定である

全滿傳染病發生狀況 十五日―廿一日

十五日から二十一日まで一週間沿線各地の傳染病患者發生數は次の通り

奉天五十七名(痘瘡四五、猩紅熱四、赤痢三、發疹チブス二、その他)▲安東七名(猩紅熱二、ヂフテリア二、その他)▲新京四名(痘瘡一、猩紅熱二)右で見ると奉天が一番多く安東、新京の順に傳染病患者が發生し內地から見ると各市とも痘瘡を筆頭に猩紅熱がその次である

大連の天然痘 益々猖獗

【大連國通】大連における天然痘は益々猛威をふるい毎日數名の新患者を出してゐるが三日以降廿五日までの新患者數は日本人五十二名、滿人二十六名、內金州日本人二十二名、滿人二名、死亡日本人六名、滿人十八名二十五日現在患者數日本人二十四名、滿人六名である、沿線で鞍山、營口、奉天、蘇家屯、撫順、原等に續發し猖獗の趨勢を示してゐる、大連署では二十九日より十日間告示を以て强制種痘を實施する筈である

京圖線列車脫線 乘客被害なし

京圖線新京行き五十二列車は哈爾巴嶺大石頭間を進行中前部連結の小荷物車が車輛の一部に故障を生じた爲め、突如脫線し、これがため一度旅客全部を下車せしめ敦化より臨時列車を運行し同列車を待つてこれに移乘させることゝなり、約五時間半遲延し、午後九時四十分新京に到着した、幸ひ乘客には何等被害はなかつた

大谷上人の眞筆初め
逸品揃ひの京美術展
いよいよ今明兩日太子堂で

屢報の如く本社後援による京都作家逸品、平安美術俱樂部主催書畫即賣會は豫定の如く本二十七日太子堂に蓋開けしたが大谷上人眞筆を初め優秀作家七十余名を網羅し、殊に既報の如く主催同會、紹介の意味し市價半額提供更に增三洋行表裝部の割引仕上等々好條件附の爲第一日午前より豫想以上の入場者を得て赤札賣約濟の札は第一日より相當貼られ好賣行を見せてゐる、山水に花鳥、美人畫、名士の書、金銀屛風衝立類、幾多揃つた催しで明二十八日限りであり是非一見すべきである

三宅法制局長次女 ユキ子さん
留守宅でアダリン自殺

【東京國通】三宅滿洲國法制局長の次女ユキ子さん(二三)(東京女子藥專三年生)は蒲田の自宅でアダリン自殺を遂げて居るのを廿六日朝九時頃女中が發見した、留守宅では非常に狼狽してゐるが、枕許には活花が供へられ、遺書もなく謎の自殺と觀られてゐる

原因は哲學上の煩悶か 父君語る

令孃自殺の悲報に父君三宅局長は暗然として語る

大變なことをして呉れました、東京の方から未だ詳しいことは知らしては來ず、何が原因かさつぱり解りません、娘は平生から物事を深く考へ癖があるので、人生哲學の問題なんか厭世的になつたのではないかと思ひます、先年弟男が亡くなつてから殊に力を落してゐた樣です

傷病兵士に盛んな送迎 四平街

名譽の負傷傷病兵三十一名は廿六日午後二時三十五分着列車にて來四市民多數の送迎裡に同四十分一路大連に向つた

愛護村懇談會

二十六日午後一時から蛇ー哨驛に於て滿鐵沿線愛護村懇談會が開催されたが出席者は鄉○○大隊中隊長代理廣瀨特務曹長四平街憲兵分遣隊長代理鶴卷上等兵、蛇牛哨驛長沿線村長八名、その他關係者數名で左記問題に就き種々協議午後三時終了した

一、昨年十二月以來穀物の驛取扱ひに關する件
一、稅金取立に關する件
一、各村の愛護村帳簿取扱ひに關する件
一、警備道路の手入に關する件
一、其の他懇談

自轉車盜難頻々 犯人捕はる

最近四平街に頻々として自轉車盜難事件があり四平街署に屆けられしみたが過日梨樹縣檢樹台に於て鶯玉堂の自轉車發見されたを機に私かに密偵を派し之れが犯人搜査中の處去る十七日梨樹縣生れの王占山(二一)を檢擧取調べた處自轉車專門の泥棒としてあつて梨平旅館森岡佐市氏外五台窃取の事實を自白した

食料雜貨店荒し

昨年三月頃より四平街驛前植半雜貨店に於て頻りに食料雜貨品の紛失があるので不審を抱き四平街署に屆出てゞあつたが之れが犯人搜査に同法刑事隊は極力搜査中、[illegible]昌商店に植半特有販賣の罐詰が發見されたので取調べたる處植半ボーイ宮瑞良(二三)于長祥(二五)朱鳳詩(一七)の三名が共謀して三盛商店主高元恩氏に情を告げ價格の三分の一にて賣却しつゝあつたものと判明した、由四名とも目下留置取調中であるが窃取食料雜貨價格約百五十圓であると

二人組强盗

二十三日午後十分項昌圖縣愛鄉村道善村陳家油房屯王福生氏方に二名組の強盗侵入し矢庭に王氏の頭部を棍棒を以て毆打昏倒せしめ現大洋二十圓及び衣類を强奪逃走した

花街の噂 序にも一人

ついでにもう一疋、オツト違つたもう一人、るアこれは誰でせうか、これもちよつといつも見る姿とちがつて居りますから、ハテなと首をひねらせられるでせう、と云つてこれも假裝でもなくありません、美容師を煩はして盛裝したまでゞあります

×

御紹介の始めにツイ一疋と書きかけましたが決して侮辱の意味ではありません、それは前回お尻の御難を御紹介した染千代さんと組みでいつも余興の立方をつとめます、染千代さんが刺身のワサビならば

この君千代さんはお醬油でせうか、ついこないだ連獅子を踊つたのを見ました

×

それでも一疋となことを書きかけたのです、むかし八千代に君千代といふ妓が居りました、柄は今の君千代さんよりか小さく、年增でありましたが頗る朗らかで、その頃寬城子に日本軍隊が駐屯して居まして八千代最負で、殊にその君千代は人氣の焦點となつて居りました

×

その部隊が引揚げるに際して今の記念館で送別會があつた時、長春藝妓を代表して送別の辭を述べるんだと卓子を前に立つたが背が低くて格恰がよくないものだから椅子の上に乘つ、今度は高くなりすぎたのでとでんと卓子を叩き、諸君ッ……とやつたものです今の君千代さんはそんなことはできさうもない、おとなしくて

けふの銀相場

種類	相場
鈔票對金票	一二六、九〇
現大洋對金票	一二一、三〇
國幣對金票	一〇一、〇〇
現大洋對鈔票	九五、一〇

慶安異聞 艶魔地獄

（講談上演映畫化）　玉水三郎　（畫）長谷川小信

（百五十七）

飛交ふ燕（三）

町奉行の目明しが常時斷乎としたのは、寺方や神主を洗ふ事で、之は別に寺社奉行がある、寺社方へ交渉して、取調べやうとすれば、功を奪はれるといふ暗礁がある。

今一つは武家の吟味で、見す見す犯罪を目撃しても、手を下す事が出來ない。縱令それが無祿の浪人にしろ、それに因縁ある關係者が何々藩の家來となると、それからの干渉で、折角逮捕した者も放還せねばならぬ事がある。

燕の太吉はそれを恐れて、大川都之進方へは入り得なかつた。しかも大川は幕府直參の士である。寶の山へ入りながら、手を空しく歸らざるを得なかつた。

偶々女乘物が通用門から入るのを見たばかりでなく、駕籠の主が立派な奥樣風であつて、悄然として哀愁を帶びた風だつたのを見ては、猶更いよ／＼其何者たるかを知りたくて堪らなくなつた。

幸ひ通用門から、酒屋の御用と見える前掛けた丁稚が出て來るのに出會つて、之れ幸ひと、町方へ出やうとするのを呼止めた。

「オイ小僧さん」

「へイ、何か御用で……」

「ウム、少し用があるんだ。お前は毎日大川さんへ、御用聞きに行くのか」

「エヽ、あのお邸は、上顧客ですから一日も缺かさず參ります」

「今入つた奧樣は、アリヤ何處のお人だね」

「エヽ、乘物で……あれは大川樣の奧樣ですよ」

「何だか打沈んで、心配さうな顏でゐたが、何うかしたのかね」

「詳しい事は知りませんが、お孃樣の御縁談が持上つてゐるので、何か其の方ぢやありますまいか」

「フーム、お孃樣つて別嬪かい」

「毅つ位だね」

「アハヽヽヽ、親方妙な事をお聞きですね。大川さんの事を聞く位で、あのお孃さんを知らないんですか」

嘲るやうに笑つた。それと悟られては不利益と見て、太吉も亦笑つて、

「ウワツハヽヽヽ、ハ、俺ア大川樣のお邸に、知つてる者があるんだが、能くお奧の事は知らないんだ。ツイ女の事だとね……アツハヽヽ」

「何しろ小町娘だ、衣通姫だといふ大評判です。小僧の癖に生意氣な事を言ふと思ふでせうが、そりや透き通るやうな別嬪で、私もたつた一度拜みましたよ」

「それで縁談てえのは、何處からあつたんだね」

「そんな事まで知りません……親方私は使が遲くなるから御免なさい」

其處は子供で、ズン／＼逝つて行つて了つた。

太吉は大川家の縁談なぞ、何等此の事件に關係のない餘計な詮議に時を費したと、後悔しながらも亦考へた。

「何でも構アねえや、金井主兵衛とお從の事は、洗ひ上げて置かねえと可けねえ。まア今日にも歸るめえ」

遂に斷念したが、

「あの子僧さへ、アヽいふ位だから、大川の娘てえのは無類美しいんだらうな、一度乃公も拜みてえ」

斯う思ひながら、いつか飯田町の中坂下へ來て了つた。

「今時分は、あの奧樣てえのが、娘を呼んで縁談の事を話してゐるだらうな……あの心配顏ぢや、好い話ぢやなからう……娘が恥かしさうに眼親の言ふ所を聞いてる、其顏が見てえもんだ」

一月二十八日　日曜　己亥　先勝　開　二宿

●一白の人　苦勞增大して利益の些少なる日大望控へよ　乙さ丙さ亥が吉
●二黑の人　運氣優秀にして計畫は良轉し利潤を獲得す　乙さ辛さ癸が吉
●三碧の人　意に滿たぬことも焦ることなく辛抱大切なり　丙さ亥さ寅が吉
●四綠の人　目に立つ發展を見る日開店普請移轉等に吉　丙さ亥さ寅が吉
●五黃の人　禍轉じて福を招き入るゝ兆あり怠らず勵め　乙さ辛さ癸が吉
●六白の人　窮乏の度甚しく展開容易ならず萬事進む凶　庚さ戊さ癸が吉
●七赤の人　多種の障碍頻出すべく計畫を捨し分を守れ　乙さ辛さ亥が吉
●八白の人　事業有利に運ばるゝも甘言に陷る恐れあり　庚さ辛さ癸が吉
●九紫の人　消沈せる意氣を引立て本業に出精するが吉　巳さ癸さ寅が

新京日日新聞
發行所 新京日日新聞社

今議會の雲ゆきは？

波瀾あつても結局は『雨後晴』
豫算總會に政友側質問陣決定

(東京國通)政友會では二十七日の豫算總會に於ても引續き內田信也氏をして質問を續行せしめ、來るべき一九三五、六年の會議に處する我國防方針を質すことになつて居り、更に第二陣を承る砂田重政氏は農村の疲弊に說き起して農産物價の吊上げの必要を力說し農林省の對策の無能を天下に暴露する等でその他豫算總會に於ては大田正孝氏(財政)加藤久米四郎氏(日滿)長島隆二氏(外交)田子一民氏(社會政策)等その精鋭をして政府の陣營に突擊を試みる方針である、然し乍ら政友會が今議會に臨む大方針は大體是々非々と言ふが如き微温的なものであり、本會議或は豫算總會に於て政府の言質をとられ決議案乃至不信任案を提出せんとする程の戰意がなくたゞ其の政綱を天下に聲明し以て政黨の信用を恢復せんとするにあるので、豫算總會に於ける質問は今後相當波瀾を極めるものと豫想されるが結局は雨後晴となり豫定通り二週間を以て審議を終ることになる模樣である

貴衆兩院ともに「まづ大丈夫」
政府側は頗る樂觀

(東京國通)休會明け劈頭からの四日間の質問戰を顧みて政府は先づホツと一息の態だ即ち各政黨代表の質問者に就てみても本會議の驅引き上概して一般論に終始し問題は寧ろ豫算總會に持越され特に政府を窮地に陷らしめた程の深刻味は考へられなかつたが軍民離間の聲明問題に於て一波瀾をみせたが之も一應の結末を告げてゐる、又貴族院方面を見るに施政方針に對する質疑は尚暫く續行せられ二十七日若しくは二十九日には注目の綱紀問題を提げて上山滿之進氏が起つであらうが此の問題に關しては世上兎角の疑惑が流布される今日、政府としては其間に公明正大なる經緯を議會を通じて公表するは却つて絕好の機會を與へられたるものとし齋藤首相は既に中島、相とも此點に就き萬端の打合せを了し待機中で政府としては頗る樂觀的態度を持してゐる

坂本俊篤男が獨舞台で終始
きのふ貴院本會議

(東京國通)二十七日の貴族院は午前十時より本會議を開催、前回に引續き國務大臣の演說に對する質疑に入り、國防問題に關し海軍中將坂本俊篤男起ちて高橋藏相大角海相中島商相に對して質問を發した、次いで時間があれば、上山滿之進氏は問題の製鐵合同帝國人絹問題の綱紀肅正問題を提げて起ちこゝに貴族院は休會明け以來の最も緊張した場面を呈し、論戰は文字通り白熱化するものと觀られる筈であつたが坂本俊篤男(公)の質問に終始し、特に燃料問題を強調し國防問題に比し燃料問題が閑却されてゐる嫌ひあり、政府は追加豫算に之を計上する意思なきや

さて政府鞭撻の質問をなし何等纏哲なく正午散會した

米艦七隻が浦鹽に廻航す
待ち受けるバルチツク艦隊
將兵二千名既に到着

某所着電によれば、本年一月レーニングラードフ、クロンシユタツトよりバルチツク艦隊所屬將兵約四千名は浦鹽斯德に到着した、一方亞米利加は先般蘇聯人民委員長の渡米の答禮と稱し目下フイリツピンにある戰艦、驅逐艦七隻を浦鹽斯德に廻航せしめ到着後蘇國海軍將兵に對し軍事教練をなした後同司令官一行は國賓待遇として莫斯科を訪問する豫定でこれが準備のため浦鹽港に忙殺されてゐる

十九路軍の福建南部駐屯
陳濟棠中央に要請

(上海國通)中央軍の急追に依り十九路軍は閩南に僅かに餘勢を保つの狀態にあるが中央政府は急追を續行すると共に廣東軍の總帥陳濟棠氏に對し南方より十九路軍討伐を命じた、陳濟棠氏としては福建南部に中央軍の勢力を延長して直接廣東軍と接觸するに至るのを虞れ十九路軍を閩南に留め之を中央軍との緩衝とし十九路軍の福建南部駐屯を中央に要請しつゝあり、若し中央軍にして之を容れず急追をゆるめざるに於ては陳濟棠氏は自衛のため決心の臍を固め茲に廣東對中央の間に重大なる紛議を醸す虞れあり形勢の推移は重大視されてゐる

陳福建省主席
二月一日就任

(上海二十七日發國通)新任福建省政府主席陳儀氏は二十八日汽船寧海號で福州に赴任二月一日就任式を擧ける豫定である

省政府福州に復歸

(南京二十七日發國通)國民政府は福建事變勃發と共に省政府を延平に移す旨命令したが既に福州中央軍の手に歸したので新任福建省主席陳儀氏の提議を容れ省政府を從前通り福州に復歸せしむる事となつた

莫德惠氏南京訪問

(南京廿七日發國通)前露支會議全權代表莫德惠氏は二十五日前外交次長王家楨氏と同道上海から南京に來り、中央政府當局に對しモスクワに於ける露支會議の經過情況並に國際情勢に就て報告する處あり、二十六日朝津浦線列車で北上した、因に王家楨氏は南京に滯在することになつた

蔣介石氏華北現狀聽取

(南京廿六日發國通)廿六日夜蔣介石氏は商震を招き、華北の現狀に就て聽取、今後の方針に就て訓示する所あつた

米支條約の滿期を機會に
治外法權撤廢方針

(南京廿六日發國通)國民政府當局は一九〇三年の米支通商條約が去る一月十三日を以て滿期となつた爲、同日外交部では北中米國公使館當局を通じてこれが一般改訂を求め、交渉開始したき旨申入れた、之に對し米國側はジョンソン公使より條約の有効期間を延長したき旨回答し支那側の改訂要求に對しては確答を避けてゐるが、支那側は例に依つて之を機會に同條約第十五條に規定する治外法權の規定を撤廢せんとする方針で進むものとみられ、各方面より重視されてゐる

米大統領の來朝を要請
汎太平洋クラブ
德川公を通じて傳達

(東京國通)汎太平洋クラブでは廿六日正午の帝國ホテルでの例會に於て中村嘉十氏の提案したる「六月のルーズヴエルト米大統領のハワイ訪問の際、日本訪問をされ度い、それが出來ねばクラブ代表と歡談の爲に、ハワイに大會開催し右大會には東洋各地團体の參加を希望する事等を在米中の德川公を通じてルーズヴエルト大統領に傳達する」との事を可決した

海相は不謹愼と民政黨いきり立つ
內田君の追及いよ〳〵急
きのふの衆議院豫算總會

(東京國通)豫算總會は昨二十六日に引續き二十七日午前十時から開會、內田信也君が海軍問題を提げて起ち

內田君　一九三五六年の危機はロンドン條約の結果に原因してゐると思ふが如何

大角海相　直接ロンドン條約の缺陷に基くものとは思はれぬが危機を孕む原因の一つとみることが出來る

內田君次いで餘鋒を進めロンドン條約に基く減税の不當並に當時軍部大臣の採つた態度に論及

內田君　ロンドン條約の結果無理をして僅かに一億三千萬圓の減税を行つた爲に今日同條約缺陷補充のため十二億圓の補充計畫が必要になるに至つた、更に五、一五事件の判決に依るも少壯將校はロンドン條約の缺陷は政黨の責任であると言はれてゐるが海軍大臣は政黨に責任ありと認めるや

大角海相　政黨に責任ありとは思はぬ、又減税もしなかつたがよかつたと思ふ

と述べれば、大角海相の減税不當の言明に對し民政黨側より不謹愼なりとの非難起る

大角海相　ロンドン條約による減税は私の就任前のことでありますから之に對する私の意見は取消します

と述べ

海軍としては過去を清算し將來のため全力を盡す

と答へた、それより內田君專門的問題に亘り第二次補充計畫完成後の日米兩軍比率如何を質したが答辯は後廻しとなり、內田君はワシントン、ロンドン兩軍縮問題に言及し米國新聞に掲載された海軍條約の比率は不滿なるが故に改訂を求むると云ふ論文を

內田君　海相の意見として認めるか

と質問、大角海相は卒直にこれを認める

と答ふ

內田君　比率に不滿なら以上兩條約の廢棄通告は本年內に出さねばならぬが海軍の方針如何

と質し

海相　期間は本年十二月末迄だからそれ迄には各般の事情をよく調査して決める心算だ

と述べ質問を打切り、次で民政黨の高木正年君　比率問題に關する外務大臣の所見如何

と質問

外相　比率によつて國防の均衡維持をはかるは人類始つて以來僅か十數年の經驗に過ぎぬから比率制限が適當なりや否やは未だ言明出來ぬ

と答へ、更に高木君

然らば外相は比率を變更する意志なきや

と追及

外相　海相の答辯通りである

來るべき軍縮會議に政府の新提案
大角海相態度を表明

(東京國通)二十七日の衆議院の豫算總會で、軍縮問題に關し內田信也君(政)は一昨年十二月ヂユネーヴの軍縮會議に提出した我軍縮案には「ワシントン、ロンドン兩條約に代るべき適當なるものなり」と但し書を附して居るが、來るべき一九三五年の軍縮會議はそれに束縛を受ける事と思ふがなぜ放任して置くか速かに撤回せぬか

と質問したるに對し大角海相は

未だ議題に上らず、說明の機會を與へられない、而して各國は今日迄請案を屢々提出し其の內容を變更して居る故に帝國もその先例に從つて內容の變更は差しつかへない

と答辯し、來るべき軍縮會議には帝府の軍縮會議に提出した帝國の軍縮案に拘泥せず、ロンドン、ワシントン兩條約の比率の變更を求むる新なる軍縮案を提出する意志があることも明瞭となつた

製鐵合同の營業延期せず
首相、伊澤氏に通告

(東京國通)伊藤多喜男氏は齋藤首相との會見に於て製鐵合同に兎角の不評ある時、急いで開業するは面白からざると、二月一日の業務開始の延期をすゝめたが、首相は二十五日中島商相と會見の結果、兎角の噂はとるに足らずと意見一致し廿六日堀切書記官長を通じて伊澤氏に通告した

日鐵定欵認可

(東京國通)製鐵合同を完了すべき日鐵設立委員會は廿六日午前十時首相官邸に開催、日鐵定欵を正式に決定、直ちに中島商相に認可の申請をなし、正午散會した、中島商相は院內で高橋藏相、林陸相、大角海相等關係閣僚と合議の上定欵認可を即日發令した斯くて二十九日午後一時創立總會の準備は完了した、尚は郷誠之助氏は東洋製鐵の參加が遲れ、會長とならず中井社長が兼任することとなつた

印度議會又も輸入絹織物に
禁止的關税を計畫

(神戸國通)雜貨關税引上げで問題となつてゐる時に、印度議會では關税增收の目的を以て絹織物の輸入關税を五割乃至六割引上げて禁止的高率化せんと當地貿易商に入電があり重大視されてゐる、外務省には未だ公電がないが、五割乃至六割の關税を增徵されては現行率に加算する時は十割乃至十一割の高率となり絹織物對印輸出は全滅となるので絹織物輸出組合では滯印中の寺尾貿易組長宛に照會電報を發し返電によつては至急對策を講ずる事となつた、尚ほ昨年度の對印絹織物輸出額は千五百萬圓で一昨年の千萬圓に比し五割の微增であつた

吉林省自治會設立

曩に奉天省及黑龍江省に於て省內參事官を以て組織された自治會は、その後吉林省參事官の間にも波及し、去る十九日額穆縣井參事官の主唱で同樣自治會の設立をみた、而して前記三省の自治會は何れも所管省公署の認可を受けてゐるので、中央部では參事官相互の親睦向上を目的とするのなら兎も角、政治的色彩を帶ぶる時は斷然解散を命ずる意向の模樣であるが、各省自治會では殘る熱河省自治會の成立を促進して奉吉黑熱の自治會を糾合、合流せんとする氣運が濃厚となつて來た

滿洲國辭令

任日本國公使館主事(委任二等)　櫻井慶八

天氣と氣温

けふの天氣は南の風雪、きのふの氣温は最高零下五度七、最低同二十度四

在京露人達が皇軍への御禮
無事暮すのも皇軍のためと
近く舞踊會の催し

これはまた珍らしい外國人の奇特……新京居住の白系露人百餘名はかねがね協議を重ねた末現在自分等が何等の脅威を感ぜず日々を安樂に送ることが出來るのは皆な日本官憲のお陰によるもので特に滿洲事變突發以來日本兵の活動にいたく感動し居住民が結束してお禮を述べ且つ慰問をなさねばならないと一決し二月十七日公學校を借受け露西亞舞踊會を開催し揚り高をもつて在滿皇軍の慰問金とすることにし舞踊會開の許可願を二十七日新京署保安係に願出た

曠古の大典を全世界に速報
電々會社着々準備

御即位の大典も近づき、諸般の準備は關係各方面に於て着々進められて居るが、全滿の通信を預る滿洲電信電話會社では、永久に紀念すべき此の曠古の大典を、新京を中心として全世界に一刻も早く知らしむべく、電信、電話、ラヂオ等社業に屬するものの全部をあげて大々的に準備に取りかかり、新京に於ける局部施設として執政府順天廣場に於ける通信、警備用の電話新設、現地放送裝置、電報局の增設を急ぎつつある一方、對外的には日滿交換紀念放送、電話長距離通話時間の延長、電話專用線使用等に就ても今考究中で、此等諸計畫を具体化すべく、過日來、大連本社より中川技術部長、八島企畫課長來京し、新京駐在員事務所を中心として御大典當日に於ける通信の萬全を期すべく各方面と連絡をとりつつあるが、具体的計畫は逐次發表して一般の利用に供することとなつてゐる

銃器彈藥押收

既報の如く首都警察廳保安係では御大典即位式を控へ市内の銃器彈藥の取締の徹底を期すべく先進隊を設け市内各署と連絡し盛に銃器の押取に努めてゐるが二十四日開始以來四日間で長銃、拳銃を合せ千五百挺彈丸十二萬發を押收した

河東農場
理想的農村建設を計畫

將來鮮農一千戸を收容する目的を以て目下櫓續的に工事の進行並に土地買收に奔走中の北滿鐵道河東農場は昨年度耕地六百餘町歩の全收穫一萬五千石に達し同農場の經營權所有者なる勸業公司出張所で（は）……農を移住せしめる豫定なるが右農場を北滿唯一の理想的農村たらしむべく努力中である

△南風そよ△吹く
きのふの氣溫

廿七日は朝來風がなかつたためか非常に溫く感じ雪も一部溶けた位であつたが、これは風が南風であつたので、風が弱かつたためで、氣溫は最高零下五度七分で溫く感じたとは云へ内地だつたら慄へ上る位の低溫であつた

マリー・イルズ孃
再び日本へ

〔パリ廿六日發國通〕昨年春空より日本を訪問したフランスの女流飛行家マリー・イルズ孃は廿六日午後二時四十五分パリ南郊のルブルヂエー飛行場發、再度の訪日飛行の途に就いた、今回の使用機は六百五十馬力ブレゲーで機關士ブラワクス氏が同乘して居る同最初の着陸地はマルセーユである

滿洲國でも軍用機の獻納
協和會で意氣込む

〔ハルビン國通〕善隣日本に於ても又ソ聯に於ても國民の軍用機獻納は盛んに行はれ、近時相當の數に達してゐる、滿ソ兩國境に在つて國境を距てゝソ聯空軍の活動を目の邊りに見せられてゐる國境附近の滿洲國軍に軍用航空機のないのを遺憾としつゝある折柄當地協和會員たる北鐵滿洲國側幹部は空軍開設を促すため從業員の俸給の一部を獻金軍用機を獻納して空軍開設の促進を計畫せるところ、協和會ハルビン地方事務局ではこの事業を同事務局の大典記念事業として同局が主体となり實行に移すことゝなり、近く評議員會を開き具体的協議を爲すことゝなつた、因みに滿洲國においては軍用機獻納をなすことは最初の事なので愼重な態度を執りつゝあるも大變な意氣込で具体案決定せば直ちに實行に移る外廣く全滿民衆に呼びかけることゝなつた

晴れの大儀に
金色燦然―陸軍の禮服
新しく滿洲國で制定

滿洲國ではさきに制定した陸軍服制を修正二十七日附で陸軍將校及同相當官の禮服に關する規定を追加公布したが帽子は深藍色のヘルメット形、服も色は深藍色で形は日本の禮服と同樣肩章は銀色星章、領章と袖章には鳳凰の模樣を金色で刺繡した金色燦然たるもので大典に參列する將校及相當官は晴れの大儀に折角の禮服を着初めせんものと仕度を急いでゐる

中村太郎氏來社

盛京時報新京支社詰記者として入社した中村太郎氏は黑田支社員の案内で挨拶に來社

木材業者ら財政部を訪問
輸入關稅撤廢反對に關して
一々數字的に説明

大連商工會議所から滿洲國に對し要望した木材輸入關稅撤廢に關する滿洲側木材同業組合の反對運動は廿七日午後一時から商工會議所に開いた協議會から反對陳情にまで進み同午後三時から、財政部に一同訪問當路者に對し一々具体的事項をあげて數字的に説明し反對意見を述べて午後五時退出したが近く書類として正式に提出することゝなつた

別嬪連中の花柳病調べ

懷しの故鄕を後に親の爲め家の爲めと滿洲の苦界に身を沈めてきたなに辛び寂しい身が花柳病に侵されて藥臭い病院の一室に呻吟してゐる身の心理こそ蓋し同情すべきものがあらう、今新京花街の花柳病患者數を調べると一月二十七日現在で新京署管内藝妓四七四名、酌婦二三七名中藝妓入院者數十一名、酌婦七名領事館管内藝妓一〇一名、酌婦一三二名中藝妓入院者數九名、酌婦廿名兩署通計藝妓五七五名中二十名、酌婦は三五九名中十二名の患者となつてゐるが結局百名につき四名弱の率であると

蒙古探險から井上享氏歸來
近く佳木斯へ出發

東京在軍公論大事社、大日本國防少年團の井上享氏は昨年來在鄕軍人移民團試踏班滿蒙探險縱走旅行の途、昨年十月新京を經て、蒙古から奧地の方を踏査中であつたが、二十六日無事新京に歸來、數日中ト佳木斯へ向け出發するが「滿洲移民の將來、日滿關係の整備につき貴重な經驗を得たが歸國後は滿洲の移民について出來るだけ奔走する心算です」と決意を語つてゐた

哈市小學校入學兒童
約四割の增加

〔ハルビン國通〕當地在住邦人が最近素晴しい勢で增加しつゝあるは、屢報の通りであるが、從つて今年四月小學校入學の兒童數も昨年に比し著しく增加を豫想され現在までに判明せるものは男兒六十四名、女兒六十一名で合計百二十五名あり、屆出で無きものを合するときは百五十名を算すべく、これを昨年の入學兒童數百八名（男兒六十名女兒四十八名）に比較すると約四割以上の增加をみる筈である

溥執政登極の報に歡喜する家裡
在哈三萬、忠誠を誓ふ

〔ハルビン國通〕當地在住三萬の家裡は帝政實施の報に淚して喜び單に家裡ではなくとも我々は清朝の御用を勤め樣々の御料を車に積んで運んだこともあり清朝とは淺からざる關係がある、今回溥執政が皇帝の御位に即かれることは我々としてこれ以上の喜びはない、今後は益々團結を固め滿洲國皇帝の爲に忠誠を誓ふものであると歡喜に溺ちてゐる

健康第一は人間改造
河合氏が説く

既報、河合篤叙氏の「健康第一」の講演は二十七日午後一時十五分から露月町家事講習所で開催された氏の講演は健康第一は健全第一となり健全第一は人間改造にありと述べ聽衆に納得させるため午後三時から實驗に移つたが盛況であつた

暴虐の魔手をのがれ鮮農に甦る春
流浪漂泊生活より救はれ
同胞愛の大村建設

〔吉林國通〕昨春以來匪賊の跳梁にまかされた南部吉林各縣居住の鮮農千五百戸は暴虐匪賊の手をのがれ、磐石縣城その他へ避難してゐたが、その後日滿兩軍の討匪行により治安の恢復されるにつれて約半數は原住地に歸農したるも殘りの半數は最も僻地にあつて今尚危險を免れぬところより、歸農を欲せず、歸農しても家屋、農具も匪賊に燒却され、生活の方針がたたぬため、ルンペン同樣、中には遊牧の原始民族にも等しい流浪生活を送つてゐるといふ淚ぐましい慘狀にあるが、これを見かねた同胞愛に燃ゆる磐石居住鮮人有志は、これが救濟として彼等の大集團農村を建設して收容する計畫を樹て地主側と縣公署間を往來折衝を重ねた結果、この程漸く諒解を得、磐石東方七個頂子に約三千天地の小作權を獲得し、目下家屋の建築、農具の整備等に大童の態であるが、死線をさまよふ漂泊生活より救はれ安住の地を得た鮮農の群は、この春の小作開始と共に、一路更生の道に入るべく歡喜の淚にむせびながら集團村の建設にとりかゝつてゐる

暴威を振つた匪首親子逮捕
首都警察廳の殊勳

大平堡附近を中心に暴威を振ひ良民を苦しめてゐた匪首勝光二こと勝詳元（五四）同子勝金成（二四）の兩名は部隊を解散し市内に潛入してゐるを首都警察廳司法科刑事隊が探知し捜査の結果、興運路の滿人趙某方にゐるを突止め二十六日午後七時三十分同家を襲ひ見事逮捕し拳銃を押收した

長尾警務司長朝鮮へ出張

長尾民政部警務司長は來る三十一日より二月四日迄國境警備問題及間島方面の朝鮮人問題に就き事務打合せのため朝鮮總督府へ出張の豫定である

輸入組合成績

昨年度末十二月中に於ける新京輸入組合の成績は次のやうである

組合員は十二月末現在で百十三名、出資口數は普通出資が三千百七十六口、それについての出資拂込金高は十五萬八千八百圓、特別出資口數は八百八十八口で出資拂込金は四萬一千六百三十八圓二十錢であり兩者を含む口數四千六十口、拂入金二十萬四百三十八圓二十錢であり貸付件數は百五十八回、金額十四萬七千四百七十六圓、回收件數百六十五回ト四萬四千四百七十圓で月末殘高二十七萬八千三百十九圓である、商品仕入先及び仕入金額は新京六萬六千七百七十四圓、内地七萬七千七百二圓、大連一萬二千八百圓、滿鮮一千九百圓で總計五萬九千白七十六圓である、購買傳票の取扱店は八十九、金額二萬一千百六十五圓六十錢、購買傳票使用個所は六十五使用人員は九百一名である

計器股份公司創立準備
岡本氏ら來滿

〔大連國通〕來る廿九日から三日間新京に於て開催される滿洲計器股分公司の創立準備會に列席の爲、日本度量衡協會長岡本英太郎氏以下日本計器製作者を代表する一行五名は二十六日「ばいかる丸」で來連したが、岡本氏は語る

會社は資本金百五十萬圓日滿合辦で創立される事となる模樣である。計器製作と最も關係の深い度量衡法も日本と大差ない樣だから至極便宜だ

混合保管大豆持込みは不振
京鐵管内、中旬成績

大連大豆相場依然として好轉せず、これがために混合保管大豆も持込み不振を續けてゐるが本月中旬に京鐵管内に持込まれた混保口數、合格、不合格別に分けて見ると次の通りである

一、受寄驛の合格分

▲鐵嶺一等二十七口（九七%）▲開原一等百九十一口二等二十七口（九三%）▲昌圖一等三十三口（百%）▲雙廟子一等二十口（九一%）▲四平街一等五十四口三等一口（九八%）▲郭家店一等二十七口三等一口（百%）▲公主嶺特等二口、一等五十四口、二等三口、三等一口、四等四口（九四%）▲范家屯一等七十九口、二等一口（九一%）▲新京特等五口、一等二百四十九口、二等十口、三等五十七口（八二%）合計一等七百三十四口、二等四十一口、三等六十一口、四等四口、總口八百四十七口（九〇%）即ち十%の不合格を出した譯である

特定驛の分

特等一口、一等百五十二口、三等十四口、四等一口、總口百六十八口（八八%）十二%の不合格、受寄・特定合格合計、特等八口、一等八百八十六口、二等四十一口、三等七十五口、四等五口、計一千十五口（九一%）

なほ本旬の大豆は乾燥は一部地方は前日よりも稍良好となりつゝあるが新京、公主嶺地方は依然として乾燥不良のものが出廻る、公主嶺は政府農村救濟氣構に先高を見越し賣り惜みの傾向があるから本月下旬は本旬よりなほ減少の見込みである

尺八の――ナンバーワン
新京地方事務所の巻（三）
庶務主任 小野寺兵右衛門氏

尺八は我國獨特の樂器、異鄕の地に殊に雪の深夜窓から漏れるあの微妙な音は必ずや道行く人の足をとゞめしめて身にせまる寒氣をも忘れさせ暫し忘我の境に入らしめるであらう

尺八は十年程やつてをりますが一向に上達しませんので……

小野寺氏は都山流の奧典をもつ相當な竹の人である

私は至つて無趣味な人間でありましてこれといつて若い時に習つたものがないものですから四十近くになつて尺八をはじめたのですが靜坐して樂譜に向ひますと氣は自然の腹式呼吸となり保健上にも大變よいやうに思ひます、老後の樂しみに何か一つ趣味がなければと尺八をはじめるときには色々考へてみたのですが尺八なら別に相手もいらず保健上にもよく、殊く家族や近所の人にも別に迷惑にならず金もあまりかゝる遊びでないのでやりかけてみたのです、石の上にも三年とか言ひますが十年程首を振つたおかげで今では多少はものになるやうになりました、然し人の[illegible]ふけるやうなものではありません肺などの弱い人には尺八は惡いといふ人もありますが經驗者の話によりますと適度にふけば大變よいと言はれてをります私なども尺八をふくと食慾がすゝんで身体の調子が非常によいやうです

黑河ソ聯領事が干縣長に抗議
監視嚴重が理由で

〔チチハル國通〕黑河より二十六日當地某所に達した情報に依ればソ聯商業代表所々員數名は黑河に駐在し種々情報を蒐集して居る形跡があるので、滿洲國側に於ては之が取締りのためソ聯領事館前に警士四名を配置し出入せる密偵の取締りに當つて居たところ前記四名はソ聯側に買收された模樣であるので在黑河某機關の慫慂により白系露人警士と交替したが、去る二日新領事グロス着任により同館の工事開始のため滿人工人數名を使用中國境警察隊の嚴重なる監視に滿人工人は密偵の嫌疑を懼れ工事を中途にて放棄せる爲め領事館に於ては非常に狼狽し、去る十五日愛琿縣長干運英氏宛に抗議文を提出之れが對策を練つて居る

近藤事務官歸滿

〔大連國通〕上京中のハルビン駐在内務事務官近藤環太郎氏は廿六日「ばいかる丸」で來連、午後四時廿分發列車で歸哈の豫定である

轉居

▲井村勝太郎氏（大阪府）開原から祝町二丁目三番地ノ二へ
▲鈴木元吉氏（山形縣）哈市から中央通り四十一番地へ
▲小野不二男氏 室町三丁目五番地から富士町七丁目二番地へ
▲船木常藏氏 吉野町二丁目から羽衣町一丁目二番地へ
▲上倉仲一氏 日本橋通り六十九番地から曙町四丁目十四番地へ
▲片岡九一郎氏 同上
▲大島太郎氏 梅ヶ枝町三丁目二十六番地から永樂町一丁目八番地へ

居住消息

▲御殿忠男氏（奈良縣）大連から富士町三丁目へ
▲木村傳雄氏（島根縣）安東から住吉町二丁目六番地へ
▲菱刈幸盛氏（鹿兒島縣）八島通り三・八番地へ
▲西貞吉氏（東京府）入船町二丁目十七番地ノ二へ

廿五日公布の 滿洲國度量衡法 (下)

第十一條 度量衡器は實業部令に定むる條件を具備するものに非されは之を販賣することを得す

第十二條 度量衡器の製作、修理、販賣及輸入は實業部令に別段の規定ある場合を除くの外實業部總長の許可を受けたる者に非されは之を爲すことを得す

第十三條 取引若は證明の爲に使用し又は販賣の目的物とする度量衡器を製作、輸入又は修理したるときは實業部令の定むる所に依り檢定を受くへし

第十四條 度量衡取締官吏は度量衡の計量又は度量衡器に關する取締の爲必要あるときは店舖、工場其他の場所に臨檢することを得、度量衡取締官吏前項の規定に依り臨檢したるとき度量衡の計量又は度量衡器に關する犯罪ありと思料したるときは實業部令の定むる所に依り犯人及證據を搜査し又は犯罪の證據となるへき物件を差押若は押收することを得

第十五條 取引若は證明の爲に使用し又は販賣の目的物とする度量衡器か所定の條件を具備せさるときは度量衡取締官吏は該度量衡器の檢定證印を除去し其他その使用を禁遏する爲必要なる處分を爲すことを得

第十六條 第十二條の規定に依る許可を受けたる者本法若は本法に基く命令の規定に違反し又は實業部總長の命に從はさるときは實業部總長は其の許可を取消し又は營業の停止を命ずることを得

第十七條 左の各號の一に該當する者は二年以下の有期徒刑、拘役又は千圓以下の罰金に處す

一 第十一條の規定に違反したる者

二 第十二條の規定に違反したる者

三 度量衡の計量を僞るの目的を以て不正に度量衡器を使用したる者

四 第十六條の規定に依り營業の停止を受け其の期間滿了前當該營業を爲したる者

第十八條 左の各號の一に該當する者は百圓以下の罰金に處す

一 第一條の規定に違反したる者

二 第六條の規定に違反したる者

三 第十條の規定に違反したる者

四 度量衡取締官吏の臨檢に對し虛僞の答辯を爲し又は其の職務執行を拒み之を忌避し若は之に支障を生ぜしめたる者

第十九條 左の各號の一に該當する營業を爲す營業主の代理人又は營業從業員が其の業務に關し本法又は本法に基く命令の規定に違反したるときは其の罰則は營業主又は違反者に對して之を適用す

一 度量衡器の製作、修理、販賣又は輸入の營業

二 度量衡器を使用して爲す營業

第二十條 前條各號の一に該當する營業を爲す未成年者若は禁治產者本法又は本法に基く命令の規定に違反したるときは其の罰則は其の法定代理人に之を適用す但し前條各號の一に該當する營業に關し行爲能力を有する未成年者に付ては此の限に在らず

第二十一條 第十九條の規定に依り罰則を營業主に適用する場合に於て同條所定の違反者の行爲か營業主の指揮に出てさるとき及前條の規定に依り罰則を營業主の法定代理人に適用する場合に於ては當該罰則中[illegible]に關する規定を之に適用す

第二十二條 法人の業務に關し法人の代表者本法又は本法に基く命令の規定に違反したるときは[illegible]法人又は違反者に法人の職員其の他の使用人之に違反したるときは違反者、法人又は其の代表者(代表者數人あるときは當該業務に直接關係ある代表者)に之を適用す

前項の規定に依り法人に罰則を適用する場合に於て該罰則に罰金刑以外の刑に處すへきことを規定したるときは千圓以下の罰金に處す

第二十三條 刑法の規定中第二百十八條乃至第二百二十三條は之を援用せす

第二十四條 本法施行に關し必要なる規定は實業部總長之を定む

附則

第二十五條 本法施行の期日は實業部總長之を定む

第二十六條 本法施行後五年以内は度量衡の表示に付第一條の規定に拘らず從前の例に依ることを得

一項の期間經了前文書中に使用し又は商品其の他の物件に附したる本法の規定と異る度量衡の表示は期間經了後と雖當該文書又は物件に付之を變更することを要せす

第二十七條 從前度量衡器の製作、修理、販賣又は輸入の業を營む者は本法施行後一年を限り第十二條の規定に拘らず從前慣用せられたる度量衡器の製作、修理、販賣又は輸入の業を營むことを得

第二十八條 從前慣用せられたる度量衡器は本法施行後五年を限り第十條の規定に拘らず之を取引又は證明の爲にする度量衡の計量に使用することを得

理由書

從來の度量衡は地方に依り著しき相違あり同一地方に於ても多樣の度量衡器を使用せる現狀にして取引の確實及安全を害し不便不利甚大なりき依りて速かに之れか統一を圖り民生の幸福を期するは極めて必要なり

然れども之れか急激なる變革は却つて一般に不便を生ずるの虞あるに付當分の間尺貫法とメートル法とを併用するの制を採り漸を追ふて萬國共通のメートル法に歸一するの方針に依らむとす是本法の制定を要する所以なり

太子堂の美術展 なか〳〵盛況

部平安美術俱樂部、增田洋行後援部主催、本社後援の京都優秀作家品美術展覽即賣會は既報の通り二十七日から祝町太子堂で催されてゐるが初日の午前中早くも入場者數百名に上り大盛況を呈した軸物白本、屛風二十點衝立四本額面十枚その他多數出品あり高價品としては百五十圓の額物から八、九十圓の軸物安物には一圓程度の岡田弘雪師の書畫もある會期は二十七、八の兩日で二十八日は丁度日曜でもあり入場者が殺倒するでら

海の外から

勝訴は邦人側に 加州土地法遂に空文

米國加州サンディゴ縣の地主ジョーヂ、モリソン氏は過般加州在住の邦人A、土井兩氏に同しサンディゴの所有地を轉賣したが、土井氏は加州土地法に規定された歸化權なき外人であるとの理由で、モリソン氏が加州々政府から起訴されてゐたところ、加州大審院は條項等無效の判決を下したので加州政府との間に見解を異にし互に主張を固執してゐたが二十日上級の聯邦大審院に於てモリソン氏土井兩氏に對し勝訴の判決が下つた、これによつて同勝訴に懸念されてゐた加州外人土地法は全く空文に歸したに等しい結果となつた

ラジオ欄

二十八日(日曜日)

午前十一時五〇分 講演(全滿並日本全國中繼)奉天より 建國途上にある滿洲國と其ノ將來 奉天總領事 蜂谷輝雄

午後五時 〇分 子供の時間(レコード)

同 五時三〇分 演藝(鮮語)

同 五時五〇分 ニュース(鮮語)

同 六時 〇分 ニュース(東京より)

同 六時二〇分 ニュース

同 六時三〇分 氣象豫報プログラム豫告 日曜講座(第二日) 滿洲の歷史 新京高等女學校 森下直記

同 七時 〇分 演藝(落語) 西郡仙春

同 七時三〇分 講演(滿語)

同 八時 〇分 ニュース

同 八時三〇分 氣象豫報プロ豫告(滿語)

同 八時三一分 時報 ニュース(東京より)

同 八時四九分 演藝(東京より)

鮮魚相場

品名	價	品名	價
活鯛	一〇五	氷鯛	四五
チヌ鯛	四五	鮪	一〇〇
メジ	三一	ヒラス	四三
サバ	二三	アジ	二二
ヒラメ	二六	ボラ	三一
キス	五〇	イワシ	一三
マナカツ	三一	ムツ	二三
サヨリ	三〇	スタコ	二五
タコ	四二	甲イカ	三〇
車エビ	一一〇	カニ	二六
アナコ	一三	貝柱	四〇
ナマコ	二五	カキ	四〇
[illegible]マ	一三	シジミ	一五
カマボコ	三一	氷魚	二〇
糸入	六六	カニミ	四五
タラコ	二六	ホタテ	一六
シビ	三五		

公示催告

四平街市場大街一三番地 金昌洋行事 田中稻吉

右申立人ハ左記表示ノ證書ニ付公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和九年七月三十日午前九時迄ニ當館ニ權利ヲ屆出テ且證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲ササルトキハ其無效ヲ宣言ス可シ

昭和九年一月二十二日

在新京日本帝國總領事館 領事 花輪三次郎

目錄

一 證書の種類 國際運輸株式會社海陸連絡貨物引換證

一 證書發行年月日及番號 昭和九年一月四日 第一二二號

一 品目 混保大豆一等品

一 數量 三百五十二袋(蔴袋入)

一 總重量 二九九九〇、四瓩

一 價格 金二千五百圓也

一 荷送人 四平街金昌洋行

一 荷受人 大連三菱商事會社

一 最後の所持人 金昌洋行事 田中稻吉

日本の聖女 (續上演上映)

生田葵 南部龍平畫

三四 吉兵ヱの隱れ家 (三)

「お宥様が引さらはれなすつたのだ。」

さう、前置きして吉兵衞は手みじかにお春が連れて行かれた樣子を語つた。

「憎い奴等、何處にお出でになるかは判りませんが、定めし今頃は泣いてマリヤ樣にお祈りを上げ、救ひの手のくるのを待つてお出でになりませう」

お定はさながら我がことのやうに云つて、そつと眼頭に浮んだ涙を拭いた。

「さうだ救ひを待つてゐなさるだらう。こうぢつとしてそのことを考へると、お春殿の覺え悲しんでゐる姿が眼に見へるやうだ。」

數之丞は目をつぶつた。

「明日一日、乾分小方の者の外、此處にゐる同胞ひ、屑集めの大勢に言ひつけ、手分けして其處此處かぎつけ廻らせば、吃度何か手がゝりを得てくるに違ひありません。その中にも先刻網手裏の家から出してやつて若い奴等が、何かしらせをこゝへもつてやつてくるかもしれません。よく申附けておきましたから」

吉兵衞は、數之丞を勇ひづけるやうに云つたが、それでも、數之丞は、憂鬱しい容貌をほぐさなかつた。

「可哀同樣な、庫之進の手に落ちなば、かして處女性を失はれるやうなことに立ち至つたなら潔癖なお春殿は、神の前に恥ぢ、生き延るのを羞んで、死を選ぶに違ひなからう。」

「我村様、お春様は、この、以前の時は催眠術を施して免れなすつたんだと聞いてをります。マリヤ様のおめぐみで、吃度今度もさう云ふ何かのお出附きをなされ。清淨無垢なマリヤ様の信徒として御守りになることと俺は[illegible]

「さうあつてくれればよいが」

二更の鐘を綾馬口の寺でつき出したのがひびいてきた。

「お高殿が定めし、私の歸りを待兼てゐなさるであらう、それでは吉兵衞たのんだぞよ」

さういつて數之丞は二人に戶ぐちまで送られて歸つて行つた。

「お定ことによつたらお前の手をかりなけりやならないかもしれない女のことは女の方がいい、若い奴等の手に終へなけりや、お前は身裝を變へて入込み容子をさぐつてもらひたい」

以前の座へかへると、吉兵衞はつつ立つたまゝで云つた。

「そんなことは何でもないことでござんす」

「お定燭臺をつけてくれ」

「はい」すなおに返事し、委細を問はずに燭臺をともした。

それはもうお定に判り切つてゐた。夜今時分吉兵衞がやつてきて蠟燭をつけろと云へば、それは金を隱してある容庫へ行くことであつた。

手燭を手にしてお定は前に立つて次の室へ這入つた。

さうして其處の疊と床板を揚げると、階段が出來てゐて、下の穴藏へと導かれてゐた。穴藏の片すみに二重蓋になつた甕が生けてあつて、二人はその前に立つと、吉兵衞は懷中から胴卷をぬき出し、お定がふたを明けたつぼの中へと胴卷の中の金を、ざら〳〵と振り落し込んだ。

「小判で二百兩、今日藍屋岸田の鍋職で、岸田が埋めておいたのを掘出してチョロマかしてやつたのさ。之がみなマリヤ様の教へをひろめる費用となり、信者の食物となるんだ」

「それは、えらいお手がらでしたな!」

お定はにつとほほえんで吉兵衞をみた。